高山赤十字病院臨床研修プログラム

1. 名称

高山赤十字病院臨床研修プログラム（プログラム番号：030366304）

2. 病院理念

高山赤十字病院は、人道、博愛、奉仕の赤十字精神に則り、飛騨地域の急性期医療、高度医療に貢献し、安全でより良い医療を提供します。

3. 臨床研修理念

医師としての人格を涵養し、将来の専門性にかかわらず、医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリケアの基本的な診療能力（態度、技能、知識）を身につける。

4. プログラムの目標と特色

1) 臨床研修の目標

当院は昭和 56 年 2 月に臨床研修病院に指定された。当初より研修医には幅広い臨床能力を修得し、日常よく遭遇する疾患に対するプライマリケアができることを目標にしてきたが、今後もこの姿勢を継続する。研修医時代に医師としての基本が形成されることにより、臨床能力のみならず人格の涵養も大切で、人間味ある臨床医を目標にしている。

2) 研修プログラムの特色

当院は岐阜県北部の飛騨地域にあり、中核病院としての役割を期待されている。このため救命救急センターを併設し 1 次より 3 次までの救急を担当している。さらに一般病棟のみならず、回復期病棟、老人保健施設を有し、超急性期から急性期、慢性期、回復期、高齢者医療まで幅広いプライマリケアの修得が可能である。一貫した研修体制の下で垣根のない指導が受けられ、内科 25 週、外科 8 週、小児科 4 週、救急科 12 週、外科 4 週、産婦人科 4 週、精神科 4 週、地域医療 4 週を研修し、残りの 37 週は研修医の希望により診療科を選択し、幅広く研修を行う。当院には医師として臨床経験が豊富な指導医が多く、2 年間の研修で医師としての基本を修得することが可能である。

5. プログラムの概要

(a) 研修期間は 2 年間である。当院で臨床研修を受ける者は、医師国家試験に合格して医師免許を持つ者でなければならない。

(b) 時間割と研修医配置予定

最初の数日間の新入職員オリエンテーション（病院機構の説明を受け、各種コメディカルの業務内容を理解する）に続き、2 週をかけて研修医師オリエンテーションで研修に必要な知識を修得する。内科（循環器内科含む）25 週、外科 8 週、小児科 4 週、救急科 12 週、外科 4 週、産婦人科 4 週、精神科 4 週、地域医療 4 週を研修し、残りの 37 週は研修医の希望により診療科を選

択し、幅広く研修を行う。

なお、地域医療研修（4週、一般外来1週および在宅研修1週を含む）と精神科研修（4週）を外部研修とする。

また、一般外来研修は5週とし、内科、外科、小児科、地域医療研修において並行研修する。

なお、選択科目としての院外研修は6週間以内とする。

（c）研修内容と到達目標

総合診療方式に基づく各科カリキュラムを別途提示する。

●臨床研修を行う分野・診療科

必修分野	選択科目
《1年目》 ○ 内科領域 ・呼吸器科領域 ・消化器科領域 ・内分泌・代謝・他領域 ・神経内科領域 ・循環器科領域 ○ 外科領域 ○ 小児科領域 ○ 救急科領域	《2年目》 ○ 内科領域 ・呼吸器科領域 ・消化器科領域 ・内分泌・代謝・他領域 ・神経内科領域 ・循環器科領域 ○ 外科領域 ○ 救急科領域 ○ 麻酔科領域 ○ 小児科領域 ○ 産婦人科領域 ○ 精神科領域 ○ 整形外科領域 ○ 脳神経外科・脳卒中領域 ○ 泌尿器科領域 ○ 皮膚科領域 ○ 耳鼻咽喉科領域 ○ 眼科領域 ○ 放射線科領域
《2年目》 ○ 外科領域 ○ 産婦人科領域 ○ 精神科領域 ○ 地域医療領域 ・飛騨市民病院 ・診療所・開業医等 ○医療社会事業部	○ 検査部・病理科領域 ○ リハビリテーション科領域 ○ 保健・医療行政領域
《2年間》 ○ 血液センター（献血）	

(d) 救急診療の研修は救急科（脳神経外科、整形外科、麻酔科）での研修および時間外救急外来における当直業務として行う。

(e) 全研修期間を通じて、感染対策（院内感染や性感染症等）、予防医療（予防接種等）、虐待への対応、社会復帰支援、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）、緩和ケア、臨床病理検討会（CPC）等、基本的な診療に置いて必要な分野・領域等に関する研修を行う。特に、虐待への対応、社会復帰支援、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）に関しては、医療社会事業部において研修を行う。

(f) 以下の研修会等に参加する。

- ・病院（医療安全部門）が主催する各種講演会、講習会
医療安全講習会（MRM）
感染防止対策研修会
- ・剖検検討会（CPC）
- ・緩和ケア研修会
- ・救命救急センター症例検討会、勉強会
- ・臨床研修管理委員会が必要と認めた講演会、勉強会
- ・各診療科の症例検討会、など

(g) 病院全職員を対象とした教育講演会等にも参加する。

(h) 災害発生時には、指導医立会いのもと災害救護活動を行う。

6. プログラムの指導体制と研修協力病院、施設

1) プログラム指導者

清島 満（高山赤十字病院長）

2) プログラム責任者

白子隆志（副院長事取第一外科部長事取救命救急センター長）

3) 高山赤十字病院各診療科指導責任者

診療科	責任者
内科（呼吸器）	西尾 優
内科（内分泌）	柴田 敏朗
内科（消化器）	白子 順子
循環器内科	清島 満
外科	白子 隆志 ◎※
外科	足立 尊仁
麻酔科	佐野 文
救急科	加藤 雅康
地域医療	浮田 雅人
小児科	山岸 篤至

診療科	責任者
産婦人科	矢野 竜一朗
精神科	清島 満
整形外科	前田 雅人
脳神経外科	竹中 勝信
泌尿器科	柚原 一哉
皮膚科	市橋 直樹
耳鼻咽喉科	高橋 洋城
眼科	竹中 勝信（兼）
放射線科	竹中 勝信（兼）
病理	岡本 清尚

◎：プログラム責任者

※：研修管理委員長

本院が教育施設として認定されている認定医および専門医学会名

- ・ 日本眼科学会専門医研修施設
- ・ 日本肝臓学会認定施設
- ・ 日本救急医学会指定施設
- ・ 日本外科学会指定施設
- ・ 日本血液学会研修施設
- ・ 日本産科婦人科学会専攻医指導施設
- ・ 日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
- ・ 日本消化器外科学会認定施設
- ・ 日本消化器病学会認定施設
- ・ 日本小児科学会専門医研修施設
- ・ 日本整形外科学会研修施設
- ・ 日本糖尿病学会認定教育施設
- ・ 日本内科学会教育関連病院
- ・ 日本内分泌学会認定教育施設
- ・ 日本乳癌学会関連施設
- ・ 日本脳神経外科学会訓練施設
- ・ 日本脳卒中学会研修教育病院
- ・ 日本泌尿器科学会専門医基幹教育施設
- ・ 日本皮膚科学会専門医研修施設
- ・ 日本麻酔科学会麻酔科認定病院

- ・ 日本周産期・新生児医学会周産期（新生児）専門医の暫定研修施設
- ・ 日本病理学会研修登録施設
- ・ 日本リハビリテーション医学会認定研修施設

4) 臨床研修病院及び臨床研修協力施設

高山赤十字病院を基幹型研修病院とし、協力型病院 5 病院並びに研修協力施設にて研修を行う。

協力型臨床研修病院並びに教育責任者

名古屋第一赤十字病院	副院長	伊藤雅文
名古屋第二赤十字病院	副院長	野口善令
鳥取赤十字病院	副院長	田中久雄
岐阜県厚生農業協同組合連合会飛騨医療センター久美愛厚生病院	院長	堀 明洋
特定医療法人生仁会須田病院	院長	加藤秀明

臨床研修協力施設

高山赤十字介護老人保健施設はなさと	高山市国民健康保険荘川診療所
高山市国民健康保険久々野診療所	高山市国民健康保険清見診療所
高山市国民健康保険朝日診療所	高山市国民健康保険高根診療所
岐阜県赤十字血液センター	岐阜県飛騨保健所
国民健康保険飛騨市民病院	丹生川診療所
岐阜ハートセンター	高桑内科クリニック
河野ファミリークリニック	白川村国民健康保険白川診療所

5) 研修医の指導体制

研修する各科の指導責任者の総括の下に、原則、研修医 1 名に指導医又は上級医 1 名が指導にあたる。時間外救急外来での救急疾患に関する研修は、救急部長の監督の下、上級医が指導する。

協力型研修病院、研修協力施設における研修期間中は、当該研修実施責任者、指導医、上級医、指導者等の指導の下に研修を行う。

- ・ 「指導医」 臨床経験が 7 年以上あり、かつプライマリケアの指導方法等に関する講習会を受講している研修指導医師
- ・ 「上級医」 上級の医師であり、研修医の指導にあたる医師
- ・ 「指導者」 医師以外で研修医の指導にあたる者（該当者は指導方法等に関する講習会の受講が望ましい）

7. 研修医の勤務時間

研修期間中は臨床研修部に所属し、本院の就業規則に準ずる。協力型研修病院又は研修協力施設において研修中は、当該施設の就業規則に準ずるものとする。

8. プログラムの管理運営体制

プログラム指導者（院長）、副院長、研修管理委員会委員長、副委員長、プログラム責任者、研修医の代表、看護部門の責任者、薬剤部長から推薦を受けた医療職（二）表適用者、基幹型臨床研修病院事務局代表、協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設の研修実施責任者、外部委員等で高山赤十字病院臨床研修臨床研修管理委員会（以下 臨床研修管理委員会）を構成する。本委員会は高山赤十字病院臨床研修臨床研修管理委員会規程に基づいて運営される。臨床研修管理委員会は、年度開始前に開催し、前年度の研修結果を評価し、それに基づいてその年度の研修プログラム計画を立てる。研修プログラムの内容は、年度毎に高山赤十字病院の臨床研修管理委員会に提出して承認を得るとともに、必要な修正を行った後に、研修手帳として纏めて公表し、研修希望者に配布する。定例の臨床研修管理委員会とは別に、必要があれば委員長は随時臨床研修管理委員会を招集し協議する。

9. 研修医の自己評価及び指導医・指導者の研修医評価、研修医の指導科（医）評価 研修期間中における知識・技術・態度に関する評価は、評価表を用いて行う。

1) 研修医による自己評価

研修医は各科の研修修了後、速やかに研修した事項の達成度を自己評価して記載する。

2) 指導医による研修医評価

各科の指導医は、研修医の知識・技術および態度を評価し、記載する。また、評価については随時進捗状態を把握し、不足部分について指導を行うこととする。

3) 指導者による研修医評価

指導者は研修医の次の項目について評価する。

A 医師としての基本的価値観（プロフェッショナルリズム）

B 資質・能力

C 基本的診療業務

上記について研修医評価票Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを用いて評価し、評価票は研修管理委員会で保管する。

4) 形成的評価と総合評価

- (1) プログラム責任者、臨床研修管理委員会委員長及び副委員長、教育研修課長は、研修医に対して年2回、面談を実施し形成的評価を行う。
- (2) 評価者は、研修期間ごとに、研修医の自己評価に加え、指導医および指導者と協議して行う。この際受け持ち患者や他の医療スタッフの意見も参考にする。
- (3) 各セメスター終了時点で、プログラム責任者は臨床研修管理委員会と協議の上、研修医に履修が不十分な基本研修科目がある場合は、当該科目について再度の研修を行うこととする。
- (4) 全研修期間終了時点で、臨床研修管理委員会が「臨床研修の目標の達成度判定票」を用いて最終的な総合評価を行う。

10. 臨床研修の修了

研修修了の評価は、研修実施期間の評価及び臨床研修の目標の達成度の評価（経験目標等の達成度 の評価及び臨床医としての適性の評価）に分けて行い、両者の基準が満たされた時に修了と認める。

臨床研修の修了基準

1) 研修実施期間の評価

以下に定める休止期間の上限を減じた日数以上の研修を実施しなければ修了と認めない。

(1) 休止の理由

休止の理由として認めるものは、傷病、妊娠、出産、育児、年次休暇その他正当な理由とする。

(2) 必要履修期間等についての基準

研修期間を通じた休止期間の上限は 90 日とする。（処遇にて定める休日は含めない。）

(3) 休止期間の上限を超える場合の取扱い

研修休止期間が 90 日を超える場合には、原則、引き続き同一の研修プログラムで研修を行い、90 日を超えた日数分以上の日数の研修を行う。また、必修科目で必要履修期間を満たしていない場合や選択必修科目のうち2つ以上の診療科を研修していない場合であっても未修了として取扱い、原則、引き続き同一の研修プログラムで当該研修医の研修を行い、不足する期間以上の期間の研修や必要な診療科における研修を行う。

- 2) 臨床研修の目標（臨床医としての適性を除く。）の達成度の評価
各目標について達成したか否かの評価を行い、少なくともすべての必修項目について目標を達成した場合に修了と認める。
- 3) 臨床医としての適性の評価
研修医が以下に定める各項目に該当しない場合に修了と認める。
 - (1) 安心、安全な医療の提供ができない場合
 - (2) 法令・規則が遵守できない者

11. プログラム修了の認定

研修修了の最終的な反転および研修修了証書の付与については高山赤十字病院臨床研修臨床研修管理委員会において行う。

12. プログラム修了後のコース ー後期臨床研修プログラムについてー

初期臨床研修プログラム修了後は、新専門医制度に準じたプログラムを用意しており専門医を目指すことができる。

13. 研修医の募集人員（定員）

8名

14. 研修医の処遇

- 1) 身分 : 初期臨床研修医師（常勤嘱託）
【初期研修期間中のアルバイト禁止】
- 2) 給与 : 1年次 450,000 円／月、2年次 500,000 円／月（税込）（諸手当込）
※当直手当 13,150 円（副直）
※手当によって個人毎に差がある
- 3) 賞与 : 1年次 763,000 円、2年次 1,125,000 円（税込）（諸手当込）
※手当によって個人毎に差がある
- 4) 勤務時間 : 8：30～17：00（休憩45分）時間外勤務あり
- 5) 休日 : 土日祝日、有給休暇（1年次：15日、2年次21日）、
創立記念日、夏季休暇、年末年始
- 6) 宿舍 : 単身用8戸（平成8年築）
- 7) 研修医室 : 医局の一角にスペースあり
- 8) 社会保険等 : 健康保険／厚生年金／労働者災害補償／雇用保険／
医師賠償責任保険
- 9) 健康管理 : 健康診断（年2回）、各種予防接種（任意）

- 10) 学会等 : 参加可能、内規に基づき参加費用の支給あり
- 11) その他 : 育児休業制度／院内託児所／職員食堂完備

15. 研修医の募集及び採用の方法

初期研修医は、別に定める募集要項及び選考方法により、応募者の中から選考し、マッチングにより採用を決定する。

出願締め切り：面接希望日 2 週間前

選考方法：マッチング公募及び面接

例年 8 月上旬～下旬

高山赤十字病院 職員課

※資料請求先：

〒506-0031 高山市天満町3丁目11番地

高山赤十字病院 教育研修課

TEL 0577-32-1111

FAX 0577-32-6802

E-mail dr_kenshu@takayama.jrc.or.jp